

※今後の検討状況等により、変更となる場合があります。



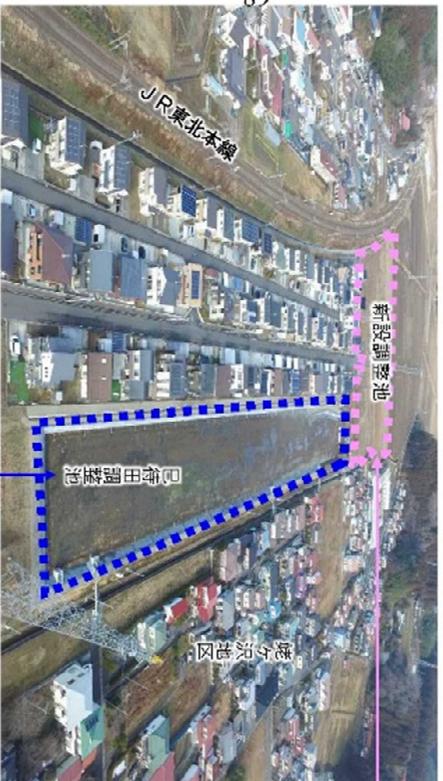
# 今後の進め方 3/3

## ③個別個表(イメージ)

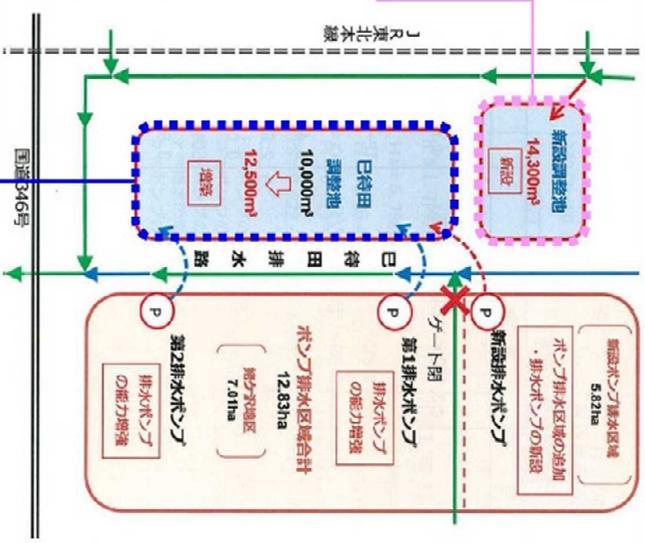
### II. 氾濫拡大の防止に関する主な対策

雨水貯留施設・調整池の整備  
排水路の整備・維持管理

流域計画施設・調整池等の整備により、支流への流出抑制を推進する。また、氾濫排水路の適切な維持管理により、機能を確保する。  
【市町・施設管理者が連携して実施】



旧待田調整池(増築)および新設調整池 整備位置



## ④取組見出し(イメージ)

### ⑤市町村の実情に応じた減災の取り組み

○①～④以外にも地域の特性等を踏まえた各種減災対策を推進

<p><b>福島市</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 減災・水防対策の推進</li> <li>2. 土地利用対策の推進</li> <li>3. 治水対策の推進</li> <li>4. 流域対策の推進</li> </ol>	<p><b>郡山市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 自主防災組織の立ち上げと地区防災計画の策定を支援していく。</li> <li>- 阿武隈川と支流が合流する箇所の冠水被害の軽減策について国・県と協議していく。</li> </ul>
<p><b>須賀川市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 災害時情報伝達手段の充実</li> <li>- 自主防災組織の設置促進と人材育成</li> <li>- 市都市計画でスタンプラントでの都市防災の取り組み</li> <li>- 準用河川の整備促進</li> </ul>	<p><b>二本松市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 自主防災組織の実行委員会で新たに導入された警戒レベルについて町職員より導入内容について説明し、各地区防災訓練で3地区において、福島県職員を講師に気象予報機の種類、内容・災害時の避難(警戒レベルの運用)の1防災講座Jを実施。</li> <li>- 令和元年台風第19号の災害が発生したことにより、浸水想定地区で水害を想定した住民参加型による防災訓練を予定。</li> </ul>
<p><b>伊達市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 防災専門員を採用し、防災計画等の見直しを行い、防災力強化を図る。併せて自主防災組織等の行動でマニュアル等の整備を図る。</li> <li>- 避難等の情報を伝達するため、防災行政無線設備の強化を図る。</li> </ul>	<p><b>本宮市</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 各地区防災訓練実行委員会です新たに導入された警戒レベルについて町職員より導入内容について説明し、全戸にチラシ配布を実施。</li> <li>- 各地区防災訓練で3地区において、福島県職員を講師に気象予報機の種類、内容・災害時の避難(警戒レベルの運用)の1防災講座Jを実施。</li> <li>- 令和元年台風第19号の災害が発生したことにより、浸水想定地区で水害を想定した住民参加型による防災訓練を予定。</li> </ul>
<p><b>桑折町</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 浸水想定地区における水害を想定した地区住民参加型の防災訓練を予定。</li> <li>- 地区住民参加による水害を想定した災害图上訓練を実施し、訓練の際「ハザードマップ」を利用することで周知に努めた。</li> <li>- 新たに導入された警戒レベルについて気象台職員から説明を受け、周知に努めた。</li> </ul>	<p><b>国見町</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 「ハザードマップ」を作成し村内全世帯に配布している。</li> <li>- 地域防災計画を作成し、避難所など指定している。</li> </ul>
<p><b>大玉村</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 地域(集落)毎に沿った防災訓練を実施し、地域住民の防災意識の向上に努める。</li> <li>- 同様に各地区で集会所があった際に、災害毎の防災に対する備えや行動の講習を実施する。</li> </ul>	<p><b>玉川村</b></p>